

心身医療科

研修指導者名

乾 明夫 浅川 明弘 網谷 東方 網谷 真理恵 森永 明倫

メッセージ

心身医療科では一人一人の患者さんのライフスタイルや心理社会的背景を加味した全人的医療のもとに、症状や生活習慣の改善を目指す診療を行っています。ストレスが関係していると言われる疾患は多数ありますが、ストレス社会といわれる現代では、患者さん本人が気づかないうちに症状を悪くさせてしまうことも多いものです。通常の内科的治療に加え、心理療法や漢方薬を組み合わせることで、長年困っている慢性的な症状が改善することもよくあります。全国で80の医学部・医科大学がありますが、講座があるのが鹿児島大学以外には、九州大学、関西医科大学、東京大学、東邦大学の5大学しかありません。

鹿児島大学では、「心身関連の医学」を行う場として「心身」の言葉を大切にしたいという考えから「心身医療科」として掲げています。心と身体の間を（心身関連）といますが、心身医療科では病態に焦点を当て診断と治療を行える医師を目指しています。心療内科医は全人的医療を内科領域で行う内科医なのです。そのためには身体をまず診ることのできる医者でなければなりません。次に、心と身体の間（心身関連）の病態に焦点を当て診断と治療を行える医師でなければなりません。もともと心と体を分けることはできないのです。病気になっただけで、私たちは大きなストレスを受けてしまいます。身体と心に分けずに（心身一如）医療を行う内科医が心療内科医だと考えてください。身体と心という二輪車をつなぐ車輪の軸が心身関連です。たとえば、内科と精神科を学べば心療内科ができるかといいますと、答えはノーです。「心身関連の医学」が心療内科にとって重要なのです。

最近のがんや感染症さえも心理社会的因子が発症や再発に深く関わっていることが分かってきました。基礎医学の進歩や精神神経免疫学などの新たな領域の学問の発展が、これらの事実を裏付けられるようになりました。このように考えてみますと「すべての病気は心身医学的に診なければならない」のです。そうしますと病気に対するわれわれの考えを新しく構成しなおさねばならない時代に来ているわけです。

研修目標

- (1) 総合内科（診療）として一般内科臨床に精通する
- (2) 専門性として心身医学に精通する。すなわち、心身両面に配慮した全人的医療を実践できるようになる
- (3) 漢方医学の理論および臨床について学ぶ

研修可能技能

超音波検査を含めた内科臨床技能一般、心身医学的カウンセリング、摂食障害や生活習慣病に対する認知行動療法などの心理療法、食事療法、運動療法自律訓練法、呼吸法、筋弛緩法などのリラクゼーション法家族療法、各種心理テスト評価法、漢方医学的診察および診断

取得できる専門医資格技能

- ①日本内科学会認定医・専門医
- ②日本心身医学会認定医・指導医
- ③日本心療内科学会登録医・専門医
- ④日本内分泌学会専門医
- ⑤日本消化器病学会専門医

※④、⑤に関しては、関連病院等での研修も必要



特 徴

現在、心身医療科、または心療内科の講座は、全国で5大学しかありません。臨床では、心身医学、心療内科学のみでなく、漢方医学に力を入れているのも鹿児島大学心身医療科の特徴です。研究においては、心理・行動や心身相関のみでなく、食欲・摂食、がん悪液質、漢方、機能性食品など、様々なテーマに対し、トランスレーショナルリサーチを行っています。

研修参加条件

卒後臨床研修修了者

研修施設

鹿児島大学病院心身医療科、今村病院分院、厚生連病院、済生会川内病院、かごしま高岡病院、田上病院、八反丸リハビリテーション病院、メディポリス指宿、希望ヶ丘病院、リハビリテーション病院吉村、がん研有明病院、神戸マリナーズ病院、神戸海星病院、兵庫県立がんセンター、ウエルフェア九州、病院ファミリーHP薩摩、松下病院、Tsukasa Health Care Hospital

研修期間

学位取得（大学院進学後）4年 ※海外留学や早期終了制度により多少前後する
 日本内科学会認定医 3年目終了後
 日本心療内科学会などの専門医 6年目終了後

研修プログラム

卒後2年間の初期研修



■1～2年目（卒後3～4年目） 鹿児島大学病院ならびに関連教育病院で総合内科（診療）研修／精神科研修／心身医療研修を行う。

*卒後3年目以降なら希望により大学院入学可能

*海外留学は大学院在学中もしくは修了後可能



■3～4年目（卒後5～6年目） 鹿児島大学病院ならびに関連教育病院で診療・研究に従事しながら各学会認定医、専門医受験に必要な準備を行う。



■5年目～（卒後7年目～） 各学会認定医・専門医取得後、大学病院勤務・関連病院医長・開業・留学など各人の方向性を見出す。

現在研修中の医師数

	大学内(うち大学院生の数)		大学外
卒後3年目	0	(0)	1
卒後4年目	2	(0)	0
卒後5年目	0	(0)	0

プログラムの募集人員及び選考

【募集人員】 5名程度

【選考】 面接

研修と大学院の関係

初期研修終了後の3年目以降は、随時大学院入学可能

海外留学は大学院在学中、または卒業後のいずれも可能

海外留学先としては、アメリカスタンフォード大学、オーストラリアガーバン研究所、フランスルーエン大学、イタリアカリアリ大学など

処遇

大学病院の医員としての待遇

研修終了後の進路

大学病院、地域基幹病院、関連病院や他大学のスタッフとして勤務

鹿児島大学または大学院スタッフ、国内外留学

関連病院への就職、開業など個人の希望を尊重

指導医・専門医

日本内科学会指導医 1名、日本心身医学会指導医 2名、

日本心療内科学会専門医2名、

日本内分泌学会指導医・専門医 1名、日本消化器病学会指導医・専門医 1名、

日本老年医学会指導医 1名

プログラムに関する問い合わせ窓口

心身医療科医局

電話：099-275-5751 担当：医局長 網谷東方

